

# ***KTest***

更に上のクオリティ 更に上のサービス



## 問題集

<http://www.ktest.jp>

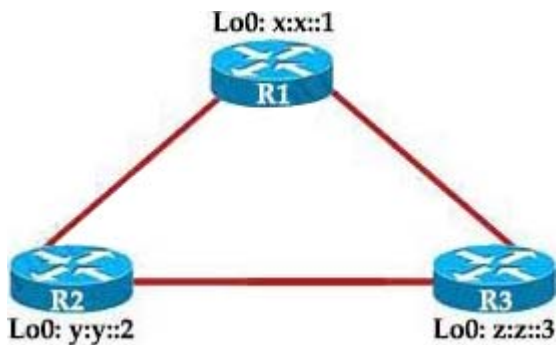
1年で無料進級することに提供する

**Exam** : **300-135**

**Title** : Troubleshooting and  
Maintaining Cisco IP  
Networks

**Version** : DEMO

1. 互いに接続された 3 つのルータ R1、R2、および R3 を含むトポロジと選択する ACL ステートメントのリスト。 質問は、どのシーケンス番号が SSH 経由で R1 から R2 への接続を許可するかを尋ねます。



R1 Lo0: x: x :: 1

R2 Lo0: y: y :: 2

R3 Lo0: z: z :: 3

A. 20 tcp x: x :: / 64 ホスト y: y :: 2 eq 22 を許可する (シーケンス番号 20 を選択)

**Answer: A**

2. IPv6 アクセスリストを回線に適用する方法

A. ipv6 アクセスグループ<ipv6 アクセスリスト名>

B. ipv6 アクセスリスト<ipv6 アクセスリスト名>

C. ipv6 アクセスクラス<ipv6 アクセスリスト名>

**Answer: C**

3. AAA について.

+ AAA Accounting commands	configures AAA to send commands executed to the configured target
+ AAA Authentication banner	configures AAA to change the message displayed when a user logs in
+ AAA authorization exec	configures AAA to validate a user's permission to change the running configuration
+ AAA authentication enable	configures AAA to prompt for a password to enter privileged mode
+ AAA authorization config-commands	(none)

**Answer:**

+ AAA Accounting commands	+ AAA Accounting commands
+ AAA Authentication banner	+ AAA Authentication banner
+ AAA authorization exec	+ AAA authorization exec
+ AAA authentication enable	+ AAA authentication enable
+ AAA authorization config-commands	+ AAA authorization config-commands

**Explanation:**

「AAA authentication banner」コマンドを使用して、ユーザがログインしたときに表示されるバナーを設定します（ログイン用のデフォルトメッセージを置き換えます）。`aaa authorization commands level method` コマンドがイネーブルの場合、コンフィギュレーションコマンドを含むすべてのコマンドは、指定された方式を使用して AAA によって許可されます。`aaa authorization command level method` コマンドで設定されたデフォルトを再設定する必要がある場合は、`aaa authorization config-commands` コマンドを使用します。参照:

[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios/12\\_2/security/command/reference/fsecur\\_r/srfauth.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/ios/12_2/security/command/reference/fsecur_r/srfauth.html)

どの AAA 機能がどのような AAA 認証のためのものであるかのように、AAA をドラッグアンドドロップします。オプションは、ユーザモードに入るときにユーザにパスワードの入力を促します。許可（認証、許可イネーブル、許可 exec、アカウンティング、許可設定モード）

4. 3 台のルータ A、B、C を持つ展示物。ルータ A はルータ B に接続されています。ルータ B はルータ C に接続されています。



ルータ C の「show interface Tunnel 1」の出力は、トンネルが「up / down」状態であることを示しています。質問はその理由を尋ねます。

A. ルータ C には、ルータ A のループバックインターフェイス（ルータ A のトンネル送信元およびルータ C のトンネル宛先として使用される）へのルートがありません。

B. トンネルモードを「gre mode multipoint」に変更する必要があります。

**Answer: A**

**Explanation:**

説明通常の場合下では、GRE トンネルがアップ/ダウン状態になる理由は 3 つだけです。

- トンネルの宛先アドレスへのルート（デフォルトルートを含む）はありません。
- トンネル送信元を固定しているインターフェイスがダウンしています。
- トンネルの宛先アドレスへのルートがトンネル自体を経由しているため、再帰が発生します。

5. ネットワーク管理者が、単一のホスト IP アドレス 192.168.x.x から R4 への AUX アクセスを制限しようとして失敗しました。

どのアクションがアクセスを制限しますか？

```
access-list 150 permit tcp host 192.168.x.x any eq 22
access-list 150 permit tcp host 192.168.x.x any eq telnet

line vty 0 4
access-class 2 in
session-limit 1
login local
transport input all
line con 0
(no config)
line aux 0
(no config)
```

- A. AUX の着信方向で ACL 150 を設定します。
- B. VTY 回線に ACL 150 を設定します。
- C. AUX で set session-limit 0 コマンド
- D. VTY で session-limit を 0 に変更

**Answer:** A

**Explanation:**

「session-limit」コマンドは、デバイス上の同時仮想端末セッションの最大数を設定するために使用されます。範囲は 1~64 です。

表示されている ACL の IP /範囲への AUX 経由のアクセス制限に関する質問。すべての行、vty、aux、および con と ACL を表示する設定。VTY だけが access-class を含む設定をオンにしていましたが、ACL 番号は表示されている設定のとおりではありませんでした。

質問は、acl で指定された範囲外の IP が AUX 経由でルータにアクセスできる理由のようなものでした - AUX にはまったく設定がなかったことを覚えていてください。